

たいそく



地域福祉を推進する大分県社協 2012.7・8
大分社会福祉 No.169

<http://www.oitakensyakyoo.jp/>




ありがとう

大分県7月豪雨災害には、県内、県外から多くのボランティアの方々が、被災地救援のため駆けつけていただいています。

特集

マスコットキャラクター、 できました！

- 私たちの取り組み 2011 事業・決算報告3
- “福祉避難所”の指定に向けて4
- 大会新記録も出ました！5
- 朝市、今年も開きます!!5
- 「赤い羽根自販機」の設置協力者募集！6
- 大分グルメ散歩募金、今年もヨロシク！7
- あたたかさのみちしるべ(社協@現場ツイート)8~9
- しゃきょうインフォメーション10~11
- 善意のこころ、ありがとう10
- 賛助会員のみなさま12
- 今月のイチオシ！商品！12
- 福祉のしごと就職フェア12

 この機関誌は、共同募金の配分を受けて発行しています。

特集

マスコットキャラクター、できました!

機関誌「だいふく」から飛び出した“だいふくんファミリー”が、大分県社会福祉協議会のマスコットキャラクターになりました。

「だいふく」の由来は、文字通り「大」分の「福」祉を、ひらがな表記にして親しみやすくしたものです。日本に親しみのある「大福餅」から、「なじみ深いもの」として覚えてもらうため、また、「大きな“福”(=しあわせ)を運ぶ」という意味と、「お餅のように(みんなと地域と)粘り強くつながる」という意味を込めました。

さくらカーさん

桜餅



愛と優しさでみんなを包み込む。清々しく清楚な桜の香り、彩(いろどり)と、大分の郷土と桜を愛する日本人・大分人の、ココロの安らぎと安心でできている。

だいふくん

大福餅



いちごちゃん

イチゴ大福



だいふくんの妹。兄ちゃん思いで、いつも兄ちゃんを慕っている。何事にも怒らないやさしさがある。イチゴのように甘酸っぱい、大分人の感謝のキモチでできている。

おいもどーさん

芋大福



普段は厳しい顔をしているが、何事にもあきらめない根気とお芋のようにしっかり美味しい味(チカラ)で包み込む。大きなお芋をみんなで分け合うような、大分人の分かち合いのココロでできている。

きなこばあば

きなこ餅



暮らしの知恵、地域のこと、いろんなことを知っている知恵袋。大分人のココロのおやつ「やせうま」のように、みんなと長く繋がっていこうとするキモチでできている。

大分を住みよいまちにするため、また、大きな福(しあわせ)を運んでくるため、やってきました! だいふくんファミリーが7人揃うと、7福(しち福神)となり、いいことが起こる! ...と言うウワサ。

Mr.オーレ

カフェオレ大福

留学生。日本・おおいの伝統や文化、また、昔の支えあい助けあい文化をとても気に入ってやって来た。古くから南蛮文化を受け入れた大分人の、自由と平等のキモチでできている。



よもじい

よもぎ餅



普段はのんびりゆったりだが、いざという時はとても頼りになる。野草であるヨモギを薬とするように、大分人の健康な身体と心を養い、生きがいづくりを進めようというキモチでできている。

今後も、お子さんから高齢者まで、“福祉”をより身近なものとして感じてもらえるよう、様々な機会を利用して活躍する予定です。どうぞよろしくお願ひします。

私たちの取り組み 2011 事業・決算報告

平成23年度事業を、次のとおり展開しました。

地域に暮らす人たちの支え合い活動など

1 住民主体による

地域福祉活動のために

- きめ細かな活動が展開できる地区社協の設置推進
- 地域の特性を活かした小地域福祉活動への個別支援
- 地域福祉活動コーディネーターの育成や社協職員の研修強化
- ボランティア・市民活動の活性化を図るためセンター機能の充実
- 福祉教育の充実や減災に向けた地域力の強化など

生活福祉資金貸付・福祉センター充実など

3 県民主体のサービスの

提供のために

- 制度の有効活用を図るため、相談窓口である市町村社協や民生委員・児童委員や関係機関への制度周知を行うとともに研修の強化
- 長期滞納世帯への償還面接指導を実施し、適正な債権管理
- 社会福祉介護研修センター並びに身体障害者福祉センター各種教室や研修の充実など

日常生活自立支援・苦情解決など

2 福祉サービス利用者の

利益保護のために

- 地域ニーズが事業の利用につながるよう広報・啓発、関係職員の資質向上等の一層の推進
- 成年後見の専門機関等とのネットワークを構築、関係機関相互の連携を強化し、相談支援体制を充実
- 福祉サービス利用に関する苦情解決事業の啓発
- 福祉サービス第三者評価の受審促進
- 福祉サービス利用者の権利擁護など

就職や法人経営の支援など

4 良質な福祉サービスが

提供されるために

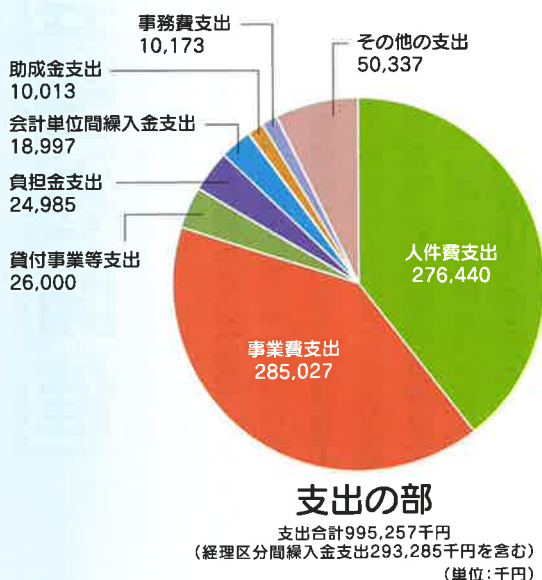
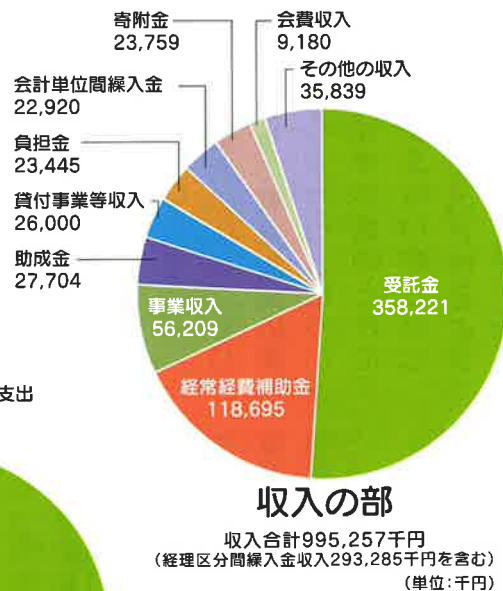
- 福祉・介護人材マッチング支援事業による求職者の職場開拓、魅力ある福祉・介護職場への指導助言、新規就労と職場定着の支援
- 新会計基準策定の対応等、社会福祉経営指導事業の周知と活用促進
- 各種別協議会との連携強化による法人運営研修の実施など

新たな課題に対する連携・協働など

5 様々な生活課題に対応するために

- 小地域見守りネットワーク構築による関係機関等との連携・協働
- 福祉的支援にとどまらず医療・保健サービス等との連携を強化
- インフォーマルサービスの普及促進など

平成23年度 一般会計収支決算 状況概要



詳しい事業内容などについては、
本会ホームページをご覧ください。

“福祉避難所”の指定に向け、推進会議を開催



6月1日、大分県総合社会福祉会館にて、第1回福祉避難所指定促進事業推進会議を開催しました。この会議は、県内の福祉施設・行政関係者、有識者、社協等19名の委員で構成され、本年度3回行う予定です。

福祉避難所とは、災害時要援護者（高齢者、障がい者、乳幼児など）と呼ばれる人々のため、特別な配慮がなされた避難所のことです。大分県の福祉避難

所の設置状況は、県内の福祉施設等165か所（平成24年3月末）であり、本年度は、厚生労働省のガイドラインに基づき、県内の小学校区数である314か所を目標に、指定促進を行っていきます。

また、広域災害に備え、福祉施設だけではなく、旅館やホテルについても、指定を推進していきます。

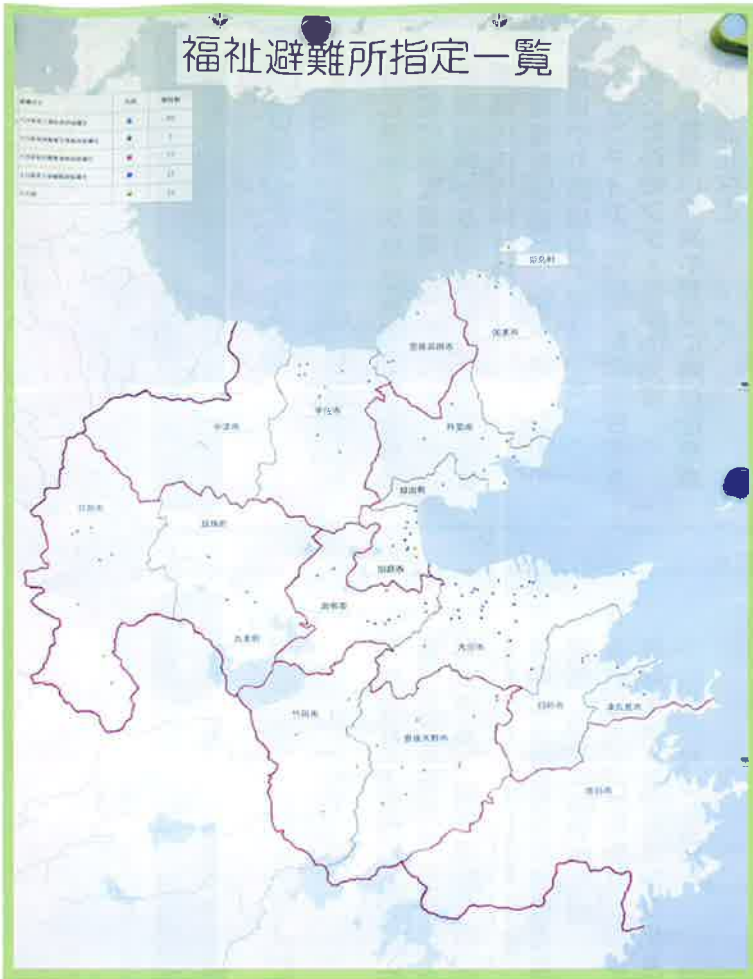
推進会議では、指定の促進をはじめ、福祉施設どうしの避難訓練の実施等や講演会・シンポジウムについて協議を行い、「津波災害のときには海側の施設は使えないのではないか」「様々な災害に対応できるように多くの施設の指定を促していきたい」など、実用性のある事業にするため多くの議論が交わされました。

また、同日、本年1月に結ばれた「大分県社会福祉施設等災害時相互応援協定」について、協定を結んだ8団体の代表が集まり、細目検討会を行いました。

この協定は、福祉施設の利用対象の違いを超え、広域に連携し、災害時に入所者の相互の受け入れや支

援に取り組んでいこう、というものです。

検討会では、この協定をより実効性のあるものにするため、応援の内容や要請、応援施設の調整などを協議し、「福祉避難所として指定された場合の受け入れはどうするか」「数年ごとに検証、見直しが必要では」など、活発な議論が交わされました。今後も検討会を重ね、利用者の安心・安全のための協定細目を決定していきます。



大会新記録も出ました!

県ゆうあいスポーツ大会

5月13日、大分スポーツ公園内大分銀行ドームにおいて、「第32回大分県ゆうあいスポーツ大会」が開催されました。

例年雨続きだった大会ですが、今年は選手のみなさんの思いが通じたのか晴天に恵まれました。今年も開会式には、大分高等学校の吹奏楽部総勢70名のみなさんに演奏していただき、その演奏に合わせて選手のみなさんが元気よく入場しました。

今大会の走り幅跳びで、大会新記録を出した小坪千明さん(ほろんの郷四日市)。「7m跳べるようになってみたいです!」と次回に向けての意気込みを語ってくれました。



第32回大分県ゆうあいスポーツ大会記録一覧

競技種目	選手所属団体名	氏名	記録	受賞名	備考	
400M	男子	糸口学園	岡部一輝	59秒90	TOSテレビ大分賞	
	女子	糸口学園	安部佑香	1分26秒58	NHK大分放送局賞	
ソフトボール投げ	男子	博愛通勤寮	衛藤誠治	60m30cm	朝日新聞社賞	
	女子	秀溪園	北村美奈子	26m00cm	朝日新聞社賞	
走り幅跳び	男子	さつき園小島	山内吉郎	3m42cm	大分県障がい者体育協会会長賞	
	女子	ほろんの郷四日市	小坪千明	4m00cm	大分県障がい者体育協会会長賞	新記録
立ち幅跳び	男子	第1みのり学園	藤川翔太	2m20cm	大分県障がい者体育協会会長賞	
	女子	杉の木会	品川結香	1m68cm	大分県障がい者体育協会会長賞	
1500M	男子	さつき園中江	吉田里美	5分12秒87	大分県社会福祉協議会会長賞	
800M	男子	糸口学園	杉田慶彦	2分33秒52	大分県手をつなぐ育成会会長賞	
	女子	ほろんの郷四日市	小坪千明	3分34秒79	OBS大分放送賞	
100M	男子	緑の家	高橋健治	12秒52	西日本新聞社賞	
	女子	ナザレトの家	市吉優希	16秒47	西日本新聞社賞	
フライングディスク	5M	アップルメント	柴尾洋史	10投	エフエム大分賞	
	7M	高田みづほ園	道野伸二	9投	エフエム大分賞	
400Mリレー	児童	糸口学園A	佐藤和美	1分00秒21	大会会長賞	
			岡部一輝			
			安部佑香			
	成人	ナザレトの家	田中豊人	59秒60	大会会長賞	
			市吉優希			
			中堀雅文			
			宮川秀美			
			伊東進一			



朝市、今年も開きます!!

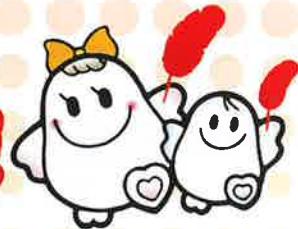
昨年度の朝市で実施したアンケートより (回答数85人)

- ① 普段の買い物が「ほとんど行かない~月に8回程度」の人が35%
- ② 「買い物に不便を感じている」「やや不便を感じている」「どちらとも言えない」人が33%
- ③ 朝市の内容について、半数の人が「買い物ができる」ことを評価。「地域の人と交流ができる」「いろんな催しがあって楽しい」と評価した人も4割いました。



5月14日、昨年度3回実施した「東日本復興支援地域交流朝市」の意見交換会を開催しました。出店団体である就労支援事業所やボランティア団体の担当者はもとより、地域の方のご意見を聞かせていただくため、地元の自治会長(兼校区社協会長)さんにも出席いただきました。いただいたご意見やアドバイスを参考に、今年度も朝市を開催します。開催日が決まりましたら、ホームページにてお知らせします。

「赤い羽根自販機」の設置協力者募集



設置すると「地域社会への貢献」につながる「赤い羽根自販機」って何?!

「赤い羽根自販機」とは、飲み物を購入すると、その売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付される赤い羽根のロゴの付いた自販機です。販売業者は、売上に応じて赤い羽根共同募金に寄付を行い、その募金は、地域の福祉活動に役立てられます。それぞれの設置者、購入者、地域社会にメリットがある赤い羽根自販機ですので新規設置や設置先の紹介などにご協力をお願いします。

設置者

- ①販売業者から、売上の一定額が、手数料として設置者に支払われます。
- ②費用をかけず、地域福祉への貢献ができます。(設置企業等のイメージアップが期待できます)

購入者

飲料水を購入するだけで手軽に募金に協力でき、身近な地域の福祉活動に貢献できます。指1本でできるボランティアとなります。

地域社会

売上の一部が販売業者から赤い羽根共同募金に寄付されるため、地域福祉推進の財源が増えます。



私たちの「身近な地域の福祉活動」に使われている「赤い羽根共同募金」!

赤い羽根共同募金にお寄せいただいた募金は、高齢者の生活を支える活動、子育てを支援する活動、障がいのある方々の活動など、地域の身近な福祉活動に助成されています。



ご協力をいただいた設置例



大分県立病院様(バス停)



TOKIWAわさだタウン様(イベント広場)



大分空港ターミナル様(3F)



九重観光サービス様



県総合社会福祉会館(3F)



津久見市社会福祉協議会様



玖珠町社会福祉協議会様



売上の一定額が、「設置者の収入(販売手数料)」になります!

設置していただいた方には、販売業者から一定の販売手数料が支払われるほか、自販機は無償貸与、設置に伴う経費も無料で、自販機の管理や商品の補充、故障時の対応はもちろん、空き容器の回収、釣銭の管理など、すべて販売業者が行います。

設置いただく方の負担は、設置場所の提供と電気代(月平均3,000円程度)のみとなります。

販売業者	ハートフル福祉募金	南九州ビバレッジサービス	伊藤園	シーアール
設置者の収入	売上の17%程度	応談	売上の20%程度	売上の20%程度
取扱商品	アサヒ飲料、大塚パレジ他	コカ・コーラ、アサヒ飲料他	伊藤園の商品	アサヒカルピス、キリンビバレッジ他

お問い合わせ先…大分県共同募金会 TEL:097-552-2371(担当:疋田)